

Osaka Metro まちさんぽ

高井田駅

90分
コース

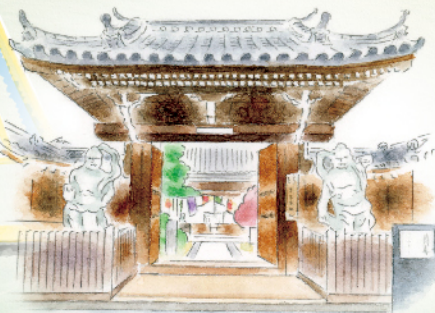
中央線 高井田駅

旧大和川沿いに向けた高井田村



新開池伝説の西堤から高井田村へ、古の長栄寺へ

長瀬川は旧大和川分流のなかでも本流となる大きな川でした。流域の小高い土地に開けたのが高井田の集落です。大和川付け替え後、長瀬川はかんがい水路となって高井田村をうるおしました。また、暗越奈良街道が横切り、古代から東西往来の要所でもありました。



長栄寺は高井田寺とも称されて、聖徳太子が難波の東の拠点として創建した重要な寺院だったといわれています。また古代豪族・鴨氏が河内に居住して氏神を祀ったとされる鴨高田神社があります。いまやモノづくりのまちとして著名な高井田ですが、古代からの歴史のまちでもあります。

スタート駅	約 90 分	ゴール駅
中央線 高井田駅 ②号出口	1 高井田村 2 西堤神社・鱗殿 3 長瀬川(旧大和川) 4 新喜多新田 5 西岸地蔵・暗越奈良街道 6 高井田地蔵 7 長栄寺(高井田寺) 8 鴨高田神社	中央線 高井田駅

新型コロナウイルス 感染拡大防止のために ●体調が優れない場合のご参加はお控えください。 ●マスク着用の上、他の方と2m程度距離を空けてご参加ください。 ●混んでいる時間帯を避け、会話を控えめにしてお参加ください。

高井田駅
90分
コース

Osaka Metro まちさんぽ

中央線 高井田駅

旧大和川沿いに開けた高井田村

新開池伝説の西堤から高井田村へ、古の長栄寺へ
長瀬川は旧大和川分流のなかでも本流となる大きな川でした。流域の小高い土地に開けたのが高井田の集落です。大和川付け替え後、長瀬川はかんがい水路となって高井田村をうるおしました。また、暗越奈良街道が横切り、古代から東西往来の要所でもありました。

スタート駅

約 90分

ゴール駅

中央線高井田駅②号出口

中央線高井田駅

1 高井田村

長瀬川流域の湿地帯にあって、なだらかな小高地に開けた集落が高井田です。室町時代にはムラを形成しました。大和川の付け替え以降、長瀬川は剣先船が行き通う川幅の狭い水路になり、旧河川敷には多くの新田が開発され、砂地を活かして綿花(河内木綿)が栽培されました。長瀬川一帯に広がった高井田村の豊かな農村を想像してみてください。

2 西堤神社・鱗殿

この北方に新開池という河内湖の名残の大きな池がありました。その西堤に住んでいた人たちが当地に移住して西堤村になったそうです。日照りが続くくと村人が集って水神社(鱗殿)に



雨乞いをしました。新開池に棲む大蛇が内介という人物に変身して村人として暮らしていたところ、入浴中に大蛇姿を見られたので池に逃げ入り、のちに水神を飲み込もうとして飲み込めず、鱗一枚を残して去ったという伝説があります。鱗殿には大蛇の鱗が祀られているといわれており、この地区の人々は新開池を内介淵と呼ぶようになりました。

3 長瀬川(旧大和川)

旧大和川の流れる長瀬川が本流で、川幅200mほどの大河でした。大雨が降ると氾濫を繰り返し、被害の大きさに江戸幕府は中基兵衛ら流域村民の嘆願を容れて、宝永1年(1704)、柏原から堺へ流れを付け替え、新大和川が完成しました。それ以後は、流域の河川敷に広大な新田が開発され、川幅は狭くなり、かんがいと水運に利用されてきました。昭和になって地域の都市化が進み、工場や生活排水による悪水化が問題になりましたが、排水の暗渠化など整備事業が施されて、現在のような都市水路に変貌しました。

4 新喜多新田

大和川付け替えて旧大和川(長瀬川)の川床を埋め立てて開発された新田で、開発者の鴻池新十郎、鴻池喜七、今木屋多兵衛の名前を1字ずつあてて名付けられました。この新田は東大阪市内では放出まで広がっていました。

5 暗越奈良街道・西岸地藏・高井田地蔵

ここには、大坂と奈良を結ぶ最短距離の暗越奈良街道が通っています。奈良時代の防人や唐使節もこの道を往来しました。江戸時代には参勤路にもなり、芭蕉もこの道から大坂に入りました。長瀬川と交差するところに長瀬川西岸にあった西岸地藏(新喜多地蔵)、堤防上にあった高井田地蔵(清水地藏)の2つの地藏があります。西岸地藏は大和川付け替え後に設置されたもので、当時の川幅が推測できます。



6 渡シ地藏・喜樂地藏

渡シ地藏は、大和川付け替え以前からあったとみられ、長瀬川の西堤にあたります。川幅が広く、船の渡し場になっていたようです。付け替え以降は川床が新喜多新田になりました。喜樂地藏も数多くある旧高井田村の石仏地藏のひとつで、こちらは付け替え以降に設置されたと思われます。



7 長栄寺(高井田寺)

寺伝によると聖徳太子が自ら十一面観世音菩薩を刻んで安置し、百濟からの来僧が入法して開山したとされ、山号を百濟山といます。一説では飛鳥寺や四天王寺と同等の権威を与えられていたといわれています。江戸時代後期、真言宗の高僧・慈雲尊者が修行の拠点にしており、高井田寺とも称します。



8 鴨高田神社

創建が白鳳2年(673)と伝えられ、鴨氏(賀茂氏)が大鴨禰命を祀った神社です。大鴨禰命は大国主命の子孫で、大和朝廷の王権成立に深く関わった古代豪族・鴨氏の祖神とされています。中世には石清水八幡領となって八幡宮と称しました。洪水や疫病の折に村人たちが守護祈願をして霊驗があったとされています。



文中の「おおさか」表記には、一般呼称や明治以降については「大阪」、江戸時代以前については「大坂」を使っています。なお、掲載している情報は2020年6月時点のものです。内容は変更されている場合がありますのでご了承ください。

発行：Osaka Metro

協力：一般社団法人大阪あそ歩委員会 (お問い合わせ先)大阪あそ歩 info@osaka-asobo.info

後援：歴史街道推進協議会

このコースや他のコースの〈ガイド付きまち歩き〉については、下記の「大阪あそ歩」のホームページをご覧ください。

<http://www.osaka-asobo.jp> または [大阪あそ歩](#) で検索

ご注意

※まち歩きには歩きやすい服装で、足下や車などの往来に十分注意し、事故のないように各自で責任をもって行動してください。
※プライバシーにかかわる場所での写真撮影や大声での談笑はご遠慮ください。

ご案内

※駅スタンプは駅長室前に設置しています。参加記念にぜひ押印してください。

駅スタンプ押印欄

